

【グループ目標】

5領域 (1)健康・生活 (2)運動・感覚 (3)人間関係・社会性 (4)言語・コミュニケーション (5)認知・行動

- ① 自分の得意なことや苦手なことを知り、活動に参加することができる。(3)(5)
- ② 意欲的に学ぶ姿勢を養い、勉学と運動に励む。(1)(2)
- ③ 仲間や指導員とコミュニケーションを図る中で、自ら解決していく力を身に付ける。(4)(5)

【目標の具現化】

- ① 

子ども自身が得意なことや苦手なことを知ることができるように、声掛けや課題を意識できるような活動を設定することで自己理解に繋げたい。指導されなくても普段から意識した行動を取ることができるように支援していく。
- ② 

学習への取り組み方法を工夫することで、学習することへの抵抗感を軽減し、意欲的に学ぶ力を育てていきたい。また、普段から運動に親しむことで心身ともに健康な状態を作ると共に「できた」という喜びや達成感を感じることで自己肯定感も高めていく。
- ③ 

自分の思いを相手に伝えられなかったり、職員がいないとトラブルが解決しない等の姿があるので、自分たちで話し合いをしたり、距離感をもって相手と接することが出来るようになってほしい。自分の気持ちと向き合い相手に伝えられる機会をしっかりと作っていく。

【活動日課・活動内容】

平日

15:30～はじめの会  
個別活動  
(学習)  
16:00～おやつ・休憩  
16:15～集団活動  
(運動など)  
17:00～選択活動  
終わりの会

学校休業日

10:00～はじめの会  
学習  
11:00～主活動①  
11:30～昼食  
13:00～主活動②③  
15:00～選択活動  
終わりの会

長期休業日

・事業所外学習を定期的 to 実施し、公共のマナーや様々な体験を通し成長を促す。  
・学習と運動+行事を通し、社会性や主体性を養う活動を選定し成長を促す。  
・インクルージョンの視点から地域交流等のかかわりを取り入れる。

平日は学習と運動を中心に実施し、学校休業日は学習と運動+子ども達が主体的に活動できるようにしていく。

【指導員の評価の観点】

- 分かりやすい表現で子どもに声掛けができたか。
- 活動内容を工夫し、子ども達が楽しんで参加出来るような配慮ができたか。
- 自分の気持ちと向き合う時間やヒアリングの時間を十分に取り、自分の言葉で相手に伝えられる機会を設けるとともに術を伝える事ができたか。